

適期確認をしっかりと

～各地区刈り取り講習会～

8月7日、平賀地区と黒石地区で県のブランド米「青天の霹靂」の刈り取り講習会を開きました。刈り取りの遅れは品質低下を招き、被害粒や胴割粒が発生することから刈り取り適期を確認しました。

J A 営農指導員は「気温が高かったことから生育は早めに推移している。田んぼ1枚ごとの収穫適期が分かるブランド米生産支援システム『青天ナビ』（リモートセンシング）を活用して、刈り取り適期を確認して作業を行ってほしい」と呼び掛けました。

また、9月6日は板柳地区3カ所で水稻適期刈り取り講習会を開き、西北地域県民局農林水産部の普及指導員が刈り取りの適期などを説明しました。



黒石地区



板柳地区

種子生育良好

～水稻採種圃場第二期検査～

平賀水稻採種組合（小山内忠道組合長）は8月26日、担当している県の指定種子生産圃場（ほじょう）で水稻採種圃場第二期検査を行いました。

生育の良否を審査した中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室職員は「全体的に良く管理されており一期検査での指摘事項も改善されているのを確認できた。今後も気を抜かずに管理を徹底してほしい」と話しました。



種子の審査を行う普及振興室職員（右）

正しい積み方で安全性確保

～米袋積み付け講習会～

9月1日、各地区の米低温倉庫で米袋の荷崩れを防ぐための積み付け講習会を開きました。各地区の粳摺業者とJ A 関係者が参加し、米袋の安全な積み付け方法を確認しました。

流通会社の社員が講師を務め、積み付け方法や注意事項などを説明。米袋をパレットへ積み付ける作業を実演し、参加者はパレットの向きや米袋を積み付ける順序など確認しました。



積み方を確認する参加者

※新型コロナウイルス感染防止対策として、マスクの着用、開始前の検温などを徹底しました。